

湯河原ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

心の中を見つめよう
博愛を広げるために

第 2427回 例会

平成23年12月9日(金)

天候 晴れ

合唱 それでこそロータリー
四つのテスト

会 長 伊藤 伸之

幹 事 望月 博文

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町土肥 1-14-25

中川方 TEL/FAX 0465(62)3056

例会場 静岡県熱海市泉 107/TEL0465(63)3721

ニューウェルシティ湯河原

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

本日は橋本ガバナー補佐とIM実行委員長である小田原クラブの鈴木輝元様がお見えになりました。1月25日に開かれるIMについてお話を頂きたいと思っております。

来年4月15日に行う湯河原RC50周年記念式典の為のご挨拶に昨日8日友好クラブである立山RCを常盤副会長、浅田さん、杉山さん、佐藤さんの5人で訪問して来ました。立山クラブは湯河原クラブと雰囲気も似ており和気あいあいのなかで歓迎して頂きありがたかったです。点鐘時間について15時又は15時30分からと説明してきました。

前回お話ししましたが次々年度の会長ノミネー選考について現会長から遡り5名で選考させていただきますが選考委員の方々来週の例会の後そのための会議を開きますので宜しくお願ひ致します。

以上会長挨拶を終わりにさせていただきます。

本日のお客様

橋本慎雄君 小田原RC

鈴木輝元君 小田原RC

幹事報告

ガバナー

1. 2012年7/1~13年6/30の行事予定の報告
公式訪問の日程希望など 12/2までに返信

2. ガバナー事務所年末年始休業のお知らせ
12/28~1/4 この間の緊急連絡は、地区
幹事まで

連絡事項

例会ご案内

12/16 通常例会 12:30点鐘 会場「千歳」

12/23 祝日休会

忘年会 6pm~ 深沢旅館

会費 10000円

クリスマスケーキのプレゼント

12/30 特別休会

1/6 新年親睦会 理事会 5pm~ 点鐘 6pm

ホテル城山 会費 10000円

1/13 通常例会 12:30点鐘

1/25 I. M 鈴廣

14:30 受付

15:00 点鐘

17:00 懇親会

講演 元神奈川県知事 松沢氏

テーマ「神奈川力、足柄力、破天荒力」

1/27 休会

出席報告	ゲスト 0名 ビジター 2名		
	会員 26名	欠席 3(1)名	出席率 92.00%
	前回の修正出席率 96.00%		前々回の修正出席率 90.91%

スマイルBOX

橋本槇雄君、鈴木輝元君

本日は、IM合同例会のご説明に参りました。

高橋延幸君 会員誕生日 12/2

高橋延幸君 結婚記念日 11/27

卓 話

佐藤泰文君

今年も暑い残暑でした。9月5日に羽田より出国、北京を経由して中国青海省西寧市に行きました。

北京は日本と同じような蒸し暑い気候でしたが、青海省は海拔2500mを超える高山地域で9月上旬でも上着が必要な気候でした。西寧は西藏、ラサに向かう青蔵鉄道の出発するところで、今までは、経財発展にあまり縁のなかった地域で、江沢民が主席時代に唱えた「西部大開発」により近代的な町になりつつあり、人口は200万人程ですが、反面、古いものが失われています。30階を越えるようなマンションや、道路建設、空港の拡張工事など、今の中国どこでも見られる建設ラッシュでした。

今回の目的は貧困地区に学校を建てる支援で、仏教超宗派で集まる「水月会」の活動の一貫でした。

行った場所は、青海省説尖礼県買加安中区、西寧より南に車で2時間ほど行ったところで、海拔は3000m、まさに山岳地帯でした。経済成長を続ける大国中国ですが、県の支援も乏しく、経済的な水準の低い厳しい環境の地で民族はチベット族で、言葉はチベット語、現地の多くの人は中国語を話しません。

この地に支援した学校建設の完成式に参加しました。

ひとときでしたが現地の子供たちや住民と友好を分かち合え、ありがたく思います。

学校に到着するや、首にレイをかけていただき、歓迎の祝い酒を飲み交わし、丁寧なおもてなしを頂きました。

現地の子供たちは、日本からみれば充分ではない環境下の中ですが、新しい校舎で学べる喜びが、ひしひしと感じられ、愛らしく、どの子供も輝いて見えました。各教室を回り、子供たちと話し合いました。コンビニもない、遊ぶところもない山の中ですが、どの子供達も大きな夢を持っていました。

日本には非常に好意的な思いがあるようで、特に新幹線、富士山には興味がありました。

少ない教材の中での教育は、そのものが手作りという感じがします。子供たちがはっきり物が言えること、答える元気さには、物質があふれた日本の子供たちとは違い、何か忘れたものがあるのではなかろうか改めて胸を打つものを感じました。この地区を貧困と見て援助をしましたが、単なる旅行ではいけない貴重な経験の中で、この子供達より何よりも大きな布施を戴いた思いがします。

当日は雨で肌寒い天気でしたが、心暖まる完成式でした。

翌日は観光で中国最大の湖、青海湖に行きました。

湖面の海拔は3260mで、琵琶湖の6倍、海が隆起してできた塩水湖です。

30以上の河川が流れ込み、周囲の草原に豊かな水分を供給している、モンゴル語でココ・ノール、チベット語でツォ・ンゴンボ（青い海）でその漢訳が青海そのものです。

道中、草原の中のまっすぐな道を走り、羊やヤクの放牧風景、遊牧民の仕事や生活など、なかなか見る事のない見学が出来、途中では広大な草原の道を西藏に向かい、五体投地して何年掛かるのでしょうか、巡礼者に出会い、思い掛けない供養をし、戴いた御縁の有り難さに感謝いたすところです。帰国して、日本は残暑厳しい9月でした。